

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	河内長野市保健問題対策協議会
2 開催日時	平成30年2月13日(火) 午後1時30分から
3 開催場所	河内長野市立休日急病診療所 2階 大会議室
4 会議の概要	(1) 会長・副会長の選出について (2) 平成29年度河内長野市保健事業実施状況について (3) 平成30年度河内長野市保健事業計画(案)について (4) その他
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0人
7 問い合わせ先	(担当課名) 保健福祉部健康推進課 (内線 146)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

平成29年度河内長野市保健問題対策協議会議事録

日時 平成30年2月13日（火）午後1時30分～午後2時30分

場所 河内長野市立休日急病診療所 2階会議室

議案 (1) 会長・副会長の選出について

(2) 平成29年度河内長野市保健事業実施状況について

(3) 平成30年度河内長野市保健事業計画（案）について

(4) その他

開始の言葉

委員の紹介

事務局の紹介

会議成立の報告 17名中11名（のちに12名）

◆議案（1）会長・副会長の選出について

会長・中林委員、副会長・藤田委員及び築瀬委員

会長就任のあいさつ

◆議案（2）平成29年度河内長野市保健事業実施状況について

事務局より報告

質疑応答

（議長）

何かご質問、ご意見ございませんでしょうか。どんなことでも構いませんので、よろしくお願ひします。結構盛りだくさんな内容でございますけれども、気になったところとか関心のあるところでも結構でございますので、ご質問ございませんでしょうか。

（浦山委員）

浦山でございます。ご説明ありがとうございます。

2ページの方の乳がん検診について教えていただきたく思います。近年、乳がん検診がかなり報道等ですごく関心も高まっていると思っています。また、説明にも書いてますけど、奇数年齢に検診を行うということになったと思いますが、それで、大阪南医療センターの受診定員の1か月あたりの人数も増えたということで、受診機会の拡充を図っているということなんですけど、28年度29年度、ちょっと受診者数が減少ということで、検診対象者は変わってないんですが、その辺の背景、もし分析されていたら教えていただきたいと思ひます。

（事務局）

乳がん検診の受診者数、28年度と29年度を比べて、若干減少しているということなんですけれども、これまでがん検診の受診につきましては、受診率向上に向けまして、効

果的な勧奨方法の検証ですとか、受診機会の充実を図ってきたんですけれども、乳がん検診につきましても、無料クーポン券の発送ですとか勧奨のハガキを送付して参りまして、28と29は若干減る感じなんですけれども、これまで26年度27年度といたしますが、乳がん検診につきましてもは徐々に増えてきておりまして、28年度は3,713人ということで、ここ数年間で勧奨の効果もありまして増えてきてまして、それが29年度につきましてもは、若干減る予定なんですけれども、対象者数は同じなんですけれども、その効果がある程度広がってきて、徐々にこの数字になってきているのかなと思うんですけれども、やはりこれをさらに受診率を向上させるために、まだまだ来年度に向けまして、勧奨の仕方ですとか、どの世代にどういうふうに通したら効果的になるのかということを考えながら、また向上に向けましてやっていきたいと思っております。

少し補足させていただきます。平成26年度までは、河内長野市では乳がん検診は、毎年みなさん受診していただくことができたんですけれども、27年度からは隔年受診ということで、2年に1回の受診を通知しております。経過措置ではないんですが、前の年に受けておられない方であれば、奇数年齢でなくても受診できるということにしておりますので、奇数年齢の方だけではなくて偶数年齢の方も27年28年は受ける方が多かったという形になっております。今年度からは奇数年齢の2年に1回の受診が定着してきつつあるということで、受診者数の方が減少したように見えておりますが、受診率についてはそれほど大幅には下がっておりませんので、受診率の方の向上にはこれからも取り組んでいきたいと思っております。

(議長)

以上ですが、よろしいでしょうか。

(浦山委員)

大阪南医療センターの方、拡充していただいて、その辺の結構応募というか受診はされているのでしょうか。

(事務局)

募集時期にもよるんですけれども、募集時期によりましては、2.5倍とか2倍くらいの倍率が出る回もございまして、かなりの数の落選者が出るということもあります。

(議長)

ほかにご質問ございませんでしょうか。

(吉村委員)

FAX送ってなくて悪いんですけれども、21ページの下から二つ目に、自殺の問題書かれておってですね、近年、3年ほど前から全国的には2万人台、それまで3万人ということで減る傾向にあるんですけれども、ところが、若者が増えてきているというようなことを新聞記事で読んでるんですけれども、河内長野のそういう問題についての状況とい

うか、具体的にもしも数とかあるいは状況についてわかっておりましたら、勉強のために教えていただけたらありがたいなとそのように思います。

なお、養成研修やっていたらいてどれくらいの方が参加されているのかもお願いします。

(事務局)

自殺についてですけれども、本市につきましては全国平均の自殺率と比較しまして低い状況でありまして、直近の平成28年度の自殺者は12人でありました。年代別といたしましては、20歳未満が1人、20歳代が2人、40歳代が2人、50歳代が4人、60歳代が2人、80歳以上が1人となっております。ですので、若者世代としては少ない方なのかと思うんですけれども、自殺につきましては関係機関との連携とか情報交換などにも力を注いでおりまして、その関係機関の中には若年層とのかかわりのある相談従事者も参加しております。相談を受けた機関が、より適切な支援窓口につなげて、自殺要因となるその原因につきましても複層的に対応できるように、現在ネットワークの構築に努めているところであります。

養成研修と言いますか、ゲートキーパーの研修につきましては、今年度その関係機関、20機関くらいあるんですけれども、そちらの関係者の方にご参加いただいております。

(議長)

よろしいでしょうか。

先程、29年度は人数が少ないというのは、これはまだ要するに今年度が完結してないからの面もあるんちがいますか。29年度はまだ2月なので…

(事務局)

3月末の見込み数を出しています。

(議長)

見込み数ですか。そうですか。ほかにございませんか。また気がつかれましたら、あとでもご質問ください。

◆議案(3)平成30年度河内長野市保健事業計画(案)について

事務局より報告

質疑応答

(議長)

議長の方から、健康の日の取り組みに関して、もう少し詳しく内容を言っていたらありがたい。

(事務局)

健康の日の取り組みですけれども、これまで関係団体のご協力を得ながら、市民健康ス

ポーツラリーを毎年開催してまいりました。子どもから高齢者まで、多くの世代の方にご参加いただきまして、健康についての意識啓発をする一定効果があったと思っておりますけれども、やはり参加人数も年々減少しておりましたし、一方、市の方でも市民ニーズに的確に対応するために、各イベントですとか事業を効率的効果的な視点によって、見直しを行っていかうということで、来年度、市としましても、がん検診の受診率向上が大きな課題の一つですので、その向上を目指しまして市民のみなさまに、より生活習慣病予防ですとか、介護予防の実践に取り組んでいただけるように、今まで集団がん検診の方は4がん、子宮頸がん抜きで4がんしか保健センターで実施してきてなかったんですけども、こういう啓発をさらに意識づけしたいなということで、子宮頸がんも含めまして5がんを一度に市役所の本庁の方で、河内長野市健康の日に実施したいと思っております。30年度はがん検診の実施なんですけれども、その後30年度の事業を検証していきまして、さらに健康を意識していただけるような事業内容を検討を深めていきたいと思っております。まずは30年度5がん実施で考えております。

(議長)

ありがとうございました。ご質問ございませんでしょうか。案ですので、これから新しいことをお聞きした訳ですけども、まだまだこれから運営事業に関しては、いろいろな問題がでてくるかもわかりませんが、その都度やはり注視してどうしたらいいかということをお互い検討していきたいなと思っております。

ほかにございませんか。

議案3については承認することに異議ございませんでしょうか。

(委員)

異議なし

◆議案(4) その他

事務局より特になし

質疑応答

(議長)

では、この機会に委員のみなさまから、この協議会について、もっとこうの方がいいとか何か改善する方策なり案なりございましたら、ご意見いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(築瀬委員)

薬剤師会の築瀬です。

特定健診、検診の受診率を上げるというのは、やはり健康意識の改善につながるし、もちろん要介護度も健康意識が高いほど下がるというデータも出ています。だから、この今とても良い特定健診、がん検診もそうですが、この啓発に関して、何かいろんなところでどういうふうな啓発をやっておられるかということをお聞かせ願いますでしょうか。

(森課長)

保険年金課の森でございます。こちらの方が、特定健康診査をやっております。特定健康診査につきましては、受診券を1年に1度5月くらいに一齐に送付していただいて、受診していただくという形をとっておりまして、未受診者というのは何か月かの間、受診されていない方に対して勧奨させていただく、基本的には、電話勧奨を中心、はがきの方も送らせていただいているという形で、広範の方にさせていただいているところでございます。

(議長)

ありがとうございました。

(西川委員)

歯科医師会の西川です。

昔、健康フェアというのがすごい盛大にやられて、いろんな医療の三師会を主にして、いろんな啓発事業をやったんですけども、これ最近、縮小の一途にありまして、ほとんどやられていない、こういう形になっているように思うんですが、予算もないということでもかなり縮小になったと思うんですけども、この予算についてですね、いわゆる高齢者の80歳の健診事業ですね、これがいわゆる大阪府の後期高齢者医療広域連合会様が負担してくれるということですね、予算が浮いてくると思うので、これを健康フェアの方に回してですね、啓発事業に充てたらどうかと思うんですが、いかがでしょうか。

(事務局)

お答えさせていただきます。西川委員のおっしゃいますように、一定、事業につきましては、いろいろ毎年見直しを図っております。河内長野市自身もまだ財政状況が厳しい中で、予算編成を迎えているわけなんですけれども、その中でも優先順位をつけながら、来年度も新規事業として、先程説明のありました事業につきまして取り組んでいきたいと考えておりますので、いろんな提案をいただくんですけども、その中で検証しながら、いろいろ取り組んでいきたいと考えております。

(議長)

西川委員、よろしいでしょうか。

(西川委員)

歯科の方から浮いてくる需用費なんで、歯科医師会の方に必ず了解を得て進めていっていただきたいなとそういう要望でございます。よろしく申し上げます。

(事務局)

ありがとうございます。

(議長)

ほかにございせんか。

では予定しておりました議案はすべて終了いたしました。みなさま方には長時間にわたりご審議いただきまして誠にありがとうございました。今後とも当協議会に対し、引き続きご支援いただきますようお願いを申し上げます。

最後に、市からごあいさつを頂きまして、会議を終わりたいと思います。

部長あいさつ

(洞淵部長)

本日はありがとうございました。いただきました意見ですね、市の施策に反映することを検討して参りたいと思います。

本市は、常々申し上げています少子高齢化が進んでおるということで、1月末現在32.9%まできてます。4月5月には33.3%、3人に1人が65歳以上という状況になってくるんじゃないかなと考えております。この中で、我々保健福祉部といたしましてはですね、健康寿命の延伸、これなどによって高齢期も含めて市民のみなさまが安心して住み続けられる街づくり、それと出産と子育てができる環境の充実ということに引き続き取り組んで参りたいと考えております。これらの取り組みには、今日ご参加いただいている委員のみなさまのご指導ご協力の方が需要でございますので、今後もみなさまのお力をお借りいたしまして、保健事業に取り組んで参りたいと思います。

これからもよろしくということで、会議の終わりに際しましてあいさつとさせていただきます。

閉会